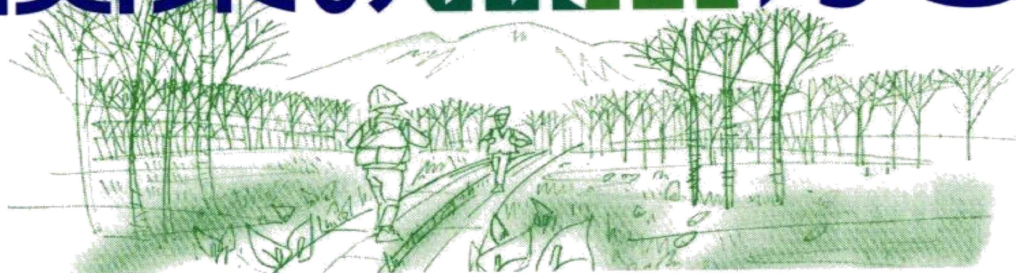


関東の森林から



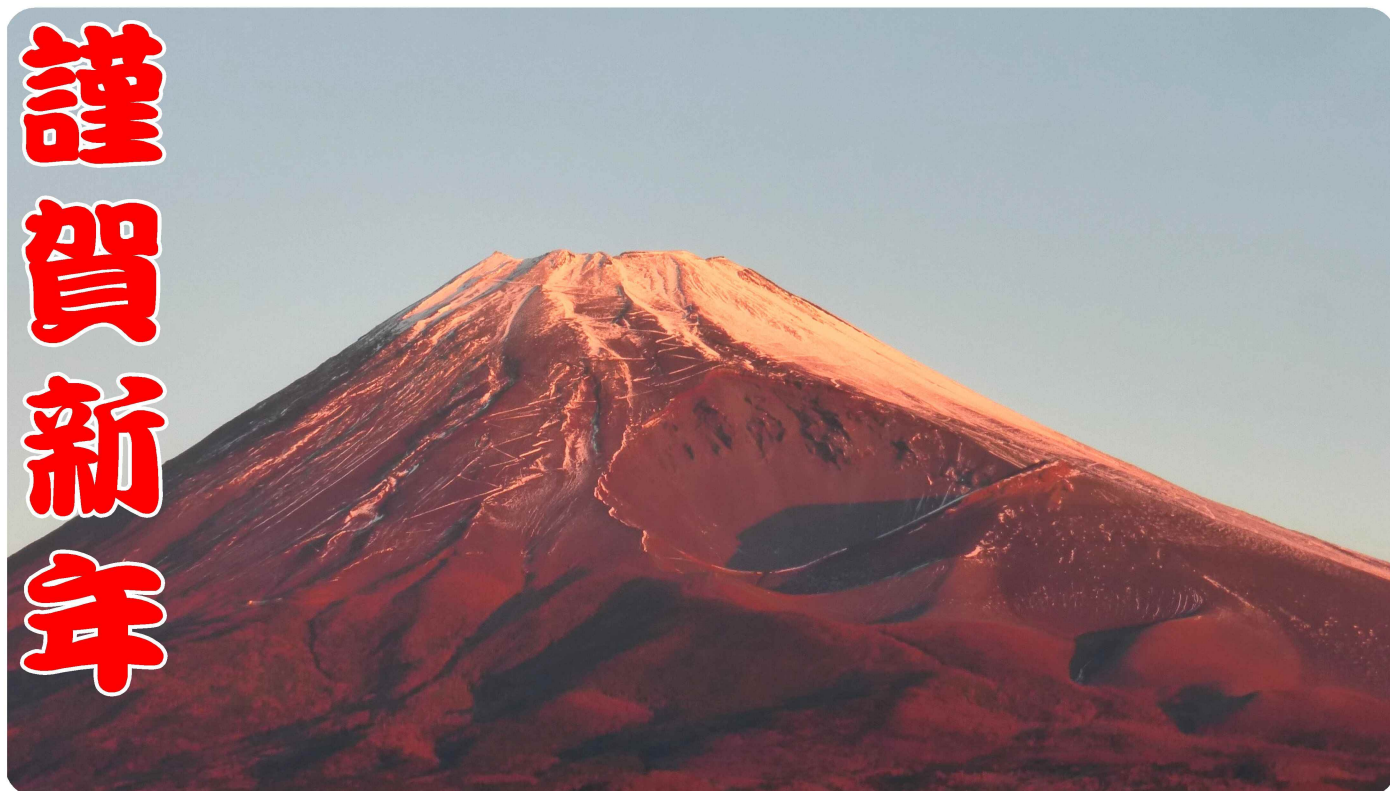
国民の森林・国有林

関東森林管理局

前橋市岩神町4-16-25
TEL.027-210-1158

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/>

謹
賀
新
年



「富士山」^{じゅうりぎこうげん} 十里木高原展望台（静岡県裾野市）から

（撮影：関東森林管理局 静岡森林管理署）

- ◎ 新年のご挨拶 関東森林管理局長 齋藤伸郎・・・2
- ◎ 「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催
令和2・3年度国有林モニターの募集 企画調整課・・・3
- ◎ 林業試験地から 森林技術・支援センター・・・4
- ◎ 「台風災害調査を兼ねたドローン自動操縦勉強会」を開催
千葉森林管理事務所・・・6
- ◎ インド国ウッタラカンド州「山地災害対策プロジェクト」治山実務研修
大井川治山センター・・・7
- ◎ きのこと特集 総務課 中林芳輝・・・8
- ◎ 森づくり最前線
会津森林管理署 湯野上森林事務所 主事 神垣崇郎・・・9
- ◎ 木材を利用した建築物等の紹介 東京事務所・・・10

新年のご挨拶

関東森林管理局長 齋藤伸郎



令和2年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様方には、日頃より関東森林管理局の業務運営はもとより、林野行政全般にわたり、ご理解とご協力をいただいております。厚く御礼を申し上げます。

昨年、台風15号による風倒木や台風19号による山崩れ及び台風21号による倒木など、関東森林管理局管内において甚大な被害が発生しました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

近年頻発する自然災害を鑑みますと、荒廃山地の復旧整備を始めとした森林の整備や治山対策の重要性が高まっています。関東森林管理局としても、被災地の早期復旧に努めるとともに、災害に強い森林づくりを推進し、山地災害の予防など事前防災、減災対策に引き続き取り組みにより、安全・安心の一層の確保に努めてまいります所存です。

さて、我が国の森林・林業については、人工林の多くが本格的な利用期を迎えています。この豊富な森林資源を「伐って、使って、植える」という形で循環利用していくことで、豊かな森林を次世代へ継承していくことが大きな課題となっております。

このような状況の中、本年度から、民有林において意欲と能力のある林業経営者への林業経営への集積、集約化等を推進する森林経営管理制度が導入されました。

また、昨年9月には、市町村が実施する森林整備及びその促進に資する取組の財源として、森林環境譲与税の譲与が行われています。

関東森林管理局としましては、本制度を円滑に機能させていくために、

意欲と能力のある林業経営者の育成に向けた取組を行うとともに、公益重視の管理経営を一層推進し、林業の成長産業化や地域貢献に向けた取組を行ってまいります。

林業を成長産業にしていく上で、森林施業の低コスト化・省力化、労働安全の確保は重要な課題です。

このため、関東森林管理局では、コンテナ苗の活用や、高性能林業機械を活用し伐採から造林までの作業を連続して行う一貫作業システム、かかり木が少ない列状間伐を管内全域で推進しており、こうした施業方法が民有林にも広く普及するよう本年も現地検討会を開催してまいります。

また、森林経営管理制度の施行も踏まえ、地域の森林づくりについて、市町村や林業関係者等への技術的支援を行う森林総合監理士（フォレストスター）の育成、「民国連携推進地区」における都県と連携した地域の森林・林業の課題解決に向けた取組等を進めます。

国有林を名実ともに「国民の森林」とするためには森林の公益的

機能の発揮を重視した管理経営が重要です。

このため、多様な森林整備の推進や鳥獣被害の防止対策を講じています。特にシカ等の野生鳥獣の生息域が拡大し、食害等が深刻化していることから、銃猟における安全確保を第一としつつ、地域と連携しながら、捕獲の実施、防護柵等の設置による食害の防止、被害状況や生息状況の早期把握を実施します。

国有林は、国民共通の財産です。国民の皆様のご意見・ご要望をよく聞かせていただきながら、期待に応えられるよう仕事を進めていきたいと考えております。

関東森林管理局の広報誌「関東の森林から」では、よりわかりやすく関東森林管理局の取組を皆様にお伝えしてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとって健康で幸多い年となりますよう祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



カヤネズミ(茅鼠)
体長約6cm。日本最小のネズミ。
軽い体と長い尾を活かして草の上を歩き、
草をボール状に編んだ巣の中の子育てをする。

「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催

企画調整課

関東森林管理局では、毎年度、国有林野が所在する地域の市町村長との会議を管内の各地域ごとに開催するとともに、各地域の代表市町村長にお集まりをいただき、年1回「国有林野等所在市町村長有志連絡協議会」を開催しています。

今年度は、11月22日(金)に東京都港区の三田共用会議所において開催し、管内14地域の代表市町村長等にご出席をいただき開催しました。会議では、林野庁から最近の森林・林業をめぐる情勢等、関東局から局の取組や台風災害への対応状況等について説明を行った後、意見交換を行いました。

- 市町村長等からは、
- 国有林を活用し、自治体とも連携した森林サービス事業の一層の推進をお願いしたい。
- 森林環境譲与税は都市部にも多くの額が譲与されることから、都市部の自治体にも木材利用の呼びかけをしてはどうか。
- 台風19号による山腹崩壊等について、治山事業での復旧をお願い



協議会の様子

する。
 ・ 新しくしま森林再生事業の復興・創生期間後の継続を要望する。
 ・ 台風等による風倒木が発生した際に、森林所有者が不明の場合でも処理できるような制度を検討してほしい。
 ・ 地域のマテバシイ林にて、ナラ枯れ被害が発生している。被害防止のための知見や情報を提供してほしい。
 等のご意見・ご要望をいただきました。

いただいたご意見・ご要望については、林野庁及び関係森林管理署等と連携して期待に応えられるように取り組んでまいります。

募集 国有林モニター

企画調整課

関東森林管理局では、国有林野事業の運営等について国民の皆様にご理解いただくとともに、ご意見・ご要望等をお聞きし、国有林野の管理経営に役立てていくため、「国有林モニター」を募集します。

国有林モニターの皆様には、国有林の広報誌などを定期的にお送りし、アンケートに回答いただきます。また、年1回、国有林モニター会議・現地視察への出席等をお願いします。募集人数は70名程度、依頼期間は令和2年4月から2年間です。

【応募資格】

福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県及び静岡県にお住まいの国有林野事業に関心のある20歳以上(令和2年4月1日時点)の方(国会及び地方議会の議員、地方公共団体の長及び常勤の国家公務員は除きます。)

【応募方法】

必要事項を記入の上、郵便はがき又はFAXにて、下記の申込み先までご応募ください。関東森林管理局ホームページからも応募できます。

【必要事項】

- ① 氏名(ふりがな)
- ② 性別
- ③ 生年月日
- ④ 住所(郵便番号)
- ⑤ 電話番号
- ⑥ 職業
- ⑦ 国有林モニター募集を知ったきっかけ
- ⑧ 国有林モニターに応募する理由

【応募期限】

令和2年2月25日(当日必着)

【申込み先・問合せ先】

〒371-8508
 群馬県前橋市岩神町4-16-25
 関東森林管理局(企画調整課内)
 国有林モニター担当係
 TEL: 027(210) 1150
 FAX: 027(210) 1154

※詳細は「関東森林管理局ホームページ」をご覧ください。

← <http://www.rinya.maff.go.jp/kan-to/kikaku/kokuyuurimonta.html>

**林業試験地から
森林技術・支援センター**

新年明けましておめでとう
ございます。
本年も森林技術・支援セン
ターが管理する試験地を紹
介します。

まずは、茨城県東茨城郡城
里町塩子の岩谷国有林271
林班「道木橋(ドウギバシ)
試験地(写真1)」のヒノキ
林です。

1911年(M44年)に植
栽され樹齢110年の試験地
が2ヶ所あります。森林技術・
支援センターが文化遺産的な
森林として2000年から長
伐期施業のモニタリング調
査をしている試験地の一つ
です。

この試験地の特徴は、かつ
て母樹林として適正に定性間
伐や枝打(写真2)の施業管
理が行われてきたことと、木
材の年輪がきめ細かく赤みが
強いことです。



道木橋(ドウギバシ)試験地(写真1)

また、木曾ヒノキに類似し
た材質から「塩子(シオゴ)
ヒノキ」の名で、ブランド材
として(写真3)流通しまし
た。
この地方の高品質のヒノキ
については、昭和50年代末に
丸太生産事業を終えましたが、
3mの柱適材が、1㎡当たり
15〜20万円で取引され、国有
林野事業の収入に貢献した歴
史がありました。



昭和40年代 架線集材の盤台

生産が盛んだった「塩子(シオゴ)ヒノキ」(写真3)



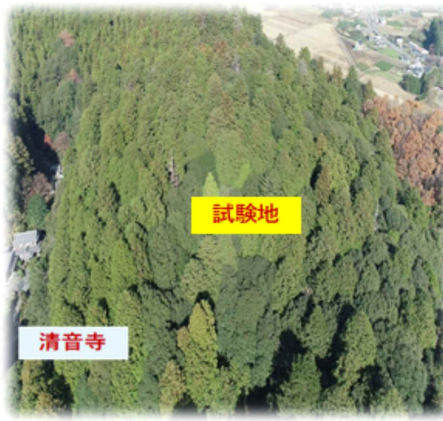
樹齢110年のヒノキ(写真2)



次は、同じ城里町の太古山
国有林15林班「清音
寺(せいおんじ)」試験地
です。

この試験地名の由来は、隣
接する清音寺(写真4)から
であり、この寺院は西暦80
9年(大同4年)に弘法大師
が草庵を設けたのが始まりと
され、旧領主の佐竹氏の菩提
寺でもあり由緒ある寺院です。
周囲を取り囲む大径ヒノキ
(写真5)は、明治初期に政
府が藩有林・社寺有林を国に
編入したことに伴い国有林に
現存している高齢のヒノキ
です。

区域面積3.17haの中に
試験プロット0.28ha(ヒ
ノキ32本スギ1本)を定期調
査しています。樹齢は、19
6年生で、平均胸高直径が75
cm、平均樹高は30mの生長林
分です。試験地内の古い根株
を解析したところ、230年
を超えた年輪も確認している
ことから、第6代水戸藩主、
徳川治保(1751〜1805)の
時代に植栽されたものと推定
されます。



位置図と清音寺試験地 (写真4)

清音寺試験地は、常磐道水戸ICから車で20分位であり、寺社の歴史とともに楽しまれることをお勧めします。なお、道木橋試験地には、駐車場がないことから、地域の方の了解を得て駐車し、その後、徒歩片道5分を要します。途中には、スギエリートツリーの検定林も視察することも可能となっています。



森林技術・支援センターでは、各試験地(写真6)の視察を受け入れていただきますので、ご遠慮なく問合せいただけます。

「筑波山複層林施業試験地」視察の様子(写真6)

(2019.8 九州大学、2019.11 埼玉県大滝山林業振興協議会)

樹齢196年のヒノキ大径木 (写真5)

今月の表紙

「富士山」(静岡県裾野市より)



富士山(標高3,776m)は静岡県と山梨県に跨る活火山で、日本最高峰の山として知られており、毎年20万人以上が、富士宮、御殿場、須走、吉田の各ルートから登山をしています。日本一高くそびえる富士山は、日本人にとって神聖な存在で、古くから『信仰の対象』として捉え、富士山とその周辺には歴史的・文化的価値を有する文化財が残されています。また、芸術の上でも影響を与え、絵画、文学、詩歌、演劇などの題材となり、2013年6月には第37回世界遺産委員会において、「富士山」信仰の対象と芸術の源泉」の名称のもと世界文化遺産に登録されています。

「台風災害調査を兼ねた ドローン自動操縦勉強会」を開催

千葉森林管理事務所

令和元年12月5日(木)・6日(金)、千葉森林管理事務所では台風15号等により大きな被害を受けた森林の災害調査を兼ねたドローン自動操縦勉強会を開催しました。

実施に当たっては、関東森林管理局にドローン操作に習熟した職員をアドバイザーとして派遣してもらいました。

まず、勉強会前日に飛行区域のほか、飛行高度や撮影写真のオーバーラップ率の設定等を行いました。

飛行当日は千葉所職員6名のほか、千葉県の出先機関からも3名の参加がありました。

自動操縦によるドローンの飛行・ホバリング・撮影の動作が行われる状況を目のあたりにすると、参加者から感嘆の声が上がりました。

今回は4回のフライトにより、被害を受けた森林の周辺を含め

て、合計約120haの飛行区域を撮影対象とし、約9,000mを飛行させて266枚の空中写真を撮影しました。

撮影した画像は、オルソ画像(空中写真を正射投影によりその歪みを補正した画像)し、国有林の図に反映させ区域測量等へ活用していきます。



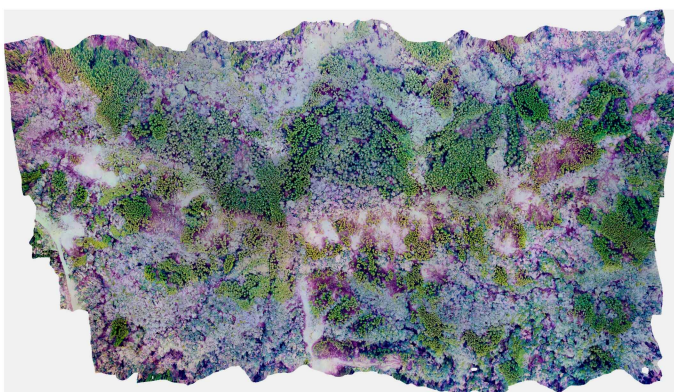
タブレットへ飛行ルートを事前に入力



自動操縦により飛行するドローンを見る参加者



タブレット操作による飛行準備



ドローンで撮影した画像をオルソ画像化



自動操縦により飛行撮影するドローン

インド国ウッタラカンド州 「山地災害対策プロジェクト」 治山実務研修

大井川治山センター



インド国ウッタラカンド州では、2013年6月に豪雨に伴う洪水・土砂崩れにより死者・行方不明者を合わせて約6,000人という甚大な災害が発生しました。

これを受け同州森林局では、2017年から国際協力機構(JICA)の支援のもと山地災害プロジェクトを進めています。

3年目となった、2019年11月11日(月)及び12日(火)、森林局職員及び技術者等(10名)を対象とした治山実務研修を大井川



集合場所の施設に設置してある立体図で、行程の説明をした際には、図面上にあるリニアのトンネルに質問が飛んできて、即答できない部分もありました。

治山センターで実施しました。

1日目は、溪間工と事前にリクエスートのあった「山腹工の成果を見ることの出来る成林した施工地」の二箇所を研修場所としました。

2日目は、山腹工を実施している箇所3箇所、概成している山腹工1箇所について、順次説明をしてました。

本年は、近畿中国森林管理局内でも研修が行われ、本研修が同州の山地災害プロジェクトの一助になれば幸いです。



雨天にもかかわらず
センター職員の説明を熱心に聞く研修生



熱心に聞きいる研修生 (説明の最中にご覧のようになりました)



ガネーシャ神



吹付に使用する機材の説明を聞く研修生

また、ウッタラカンド州森林局より、記念品として「ガネーシャ神」というインドの神様の像をいただきました。大切に扱わせていただきます。

なお、今回で研修が最後であることについて、お知らせがありました。3年間に渡り大井川の奥地まで来訪されお疲れ様でした。

きのこ特集

今年の干支はねずみ

きのこには、動物の名前の付いたきのこがたくさんあります。今年の干支の「ねずみ」にちなんで、ネズミの名前がつけられているきのこ、「ネズミシメジ」と「ホウキタケ（別名・ネズミタケ）」を紹介します。

ネズミシメジ「毒（食用不可）」 （キシメジ科キシメジ属）

10月中旬から11月中旬にかけて、マツ属やモミ属の林内地上に単生から散生します。

カサは、4 cmから8 cmくらいで表面は灰白色から灰色で中心が尖る。ヒダは、白色で湾生です。柄は、4 cmから7 cmくらいで白色です。



ネズミシメジ

ホウキタケ「食（食用可）」 （別名・ネズミタケ） （ホウキタケ科ホウキタケ属）

9月下旬から10月中旬にかけて赤松の混じった広葉樹林内地上に単生から散生します。

子实体は珊瑚状で、直径10 cmから15 cmで高さ10 cmから20 cm、全体が白色で根元は一つにまとまり、ほぼ全体が地中に埋まっています。

先端のみが、桃色から桃紫褐色になります。

ホウキタケの仲間にはたくさんあります。なかには良く似た有毒種もありますので、食用する場合には、注意が必要です。



ホウキタケ（別名：ネズミタケ）

今年の干支 ねずみと関りが深いきのこ

きのこは、色々な場所から発生します。

今年の干支の「ねずみ」や「もぐら」の巣から発生する「ナガエノスギタケ」というきのこがあります。

ナガエノスギタケ「毒（食用不可）」 （ヒメノガスタ科ワカフサタケ属）

近年、フウセンタケ科からヒメノガスタ科に変更されたきのこですが、ワカフサタケ属は変わらないので、学名に変更はありません。

8月中旬から10月中旬に林内の「ねずみ」や「もぐら」の巣に単生から散生します。

カサは3 cmから15 cmで、黄土白褐色の地に淡茶褐色のササクレに覆われ粘性があります。

ヒダは、初め白色後汚褐色になり、柄に上生又は直生します。

柄は5 cmから10 cmで白色の地に淡茶褐色のササクレがあり、上部に茶褐色のツバ（内被膜）があり、根元は細まり、細い義根が地中の「ねずみ」や「もぐら」の巣のトイレにまで達しています。



ナガエノスギタケ（生態）



ナガエノスギタケ（標本）

（総務課 中林芳輝）

森づくり最前線

会津森林管理署 湯野上森林事務所
主事 神垣 崇郎

私が勤務している湯野上森林事務所は、福島県の会津若松市、会津美里町、下郷町にまたがるおよそ5,500haの国有林を管理しています。事務所の近くには、全国でも珍しい茅葺屋根の駅舎の「湯野上温泉駅」や標高800mにも関わらず高山植物の群落を見ることが出来る「中山風穴」があります。その他にも、江戸時代の宿場町の街並みを残す重要伝統的建造物群保存地区である「大内宿」や、阿賀川の浸食によって形作られた奇妙な岩が並び立つ「塔のへつり」といった観光名所があり、紅葉のピークを迎える10月から11月にかけて多くの観光客で賑わいます。



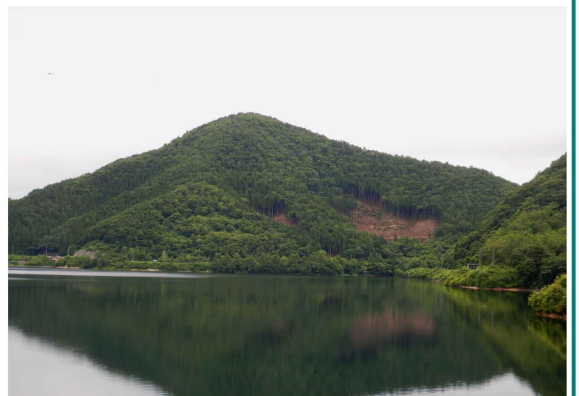
茅葺屋根の「湯野上温泉駅」

湯野上管内は全体的に標高が高く、急峻な地形をしています。地形の高低差と豊かな水資源を活用した水力発電所が大小含めて多数あり、その中でも大内宿の北にある「大内ダム」は最大100万kwの発電量を誇ります。そうした背景から国有林も水源かん養のための重要な役割を担っており、約7割が保安林に指定されています。



大戸地区
治山工事現場

今年度は、約50haの国有林で、森林の健全な成長を図るための間伐等を実施したほか、平成30年に大戸地区で発生した山腹崩壊箇所において復旧治山工事を行うなど、署と連携し保安林の整備に力を入れています。



一貫作業システム施業地



スギ少花粉コンテナ苗

能な時期が限られることや、急傾斜地において木材の搬出が困難であるなど、気候・地形による制約も多々あります。しかしながら管内の人工林の大半は主伐期を迎えており、より多様な条件に対応可能な施業が求められ、伐採・地拵え・植栽を一体的に行う一貫作業システムの採用や伐採後の再造林にコンテナ苗を導入するなど、事業の効率化・省力化や生産性の向上に取り組んでいます。その他にも、近年では今までほとんど生息していなかったニホンジカが目撃されるようになり、全国的

に問題となつている食害や樹皮剥ぎの発生が懸念されています。

私にとって湯野上森林事務所が初めての森林事務所勤務ですが、会津森林管理署や関係機関の方々にご助力いただいたおかげでこれまでの業務をこなすことができました。

まだまだ経験の浅い身ではありますが、地域からの要望や期待に応えられる国有林を目指して、今後もより良い森づくりに取り組んでいきたいと思っております。

木材を利用した建築物等の紹介

日本の人工林資源は、今まさに、本格的な利用期を迎えており、適切な森林整備を進めていくためには、国産材の積極的な利用を促進していくことが重要です。関東森林管理局東京事務所では、東京都内における木材使用の施設や木材の需要拡大などに向けた取り組みなどについて、取材・紹介していきます。

新豊洲ブリリアランニングスタジアム

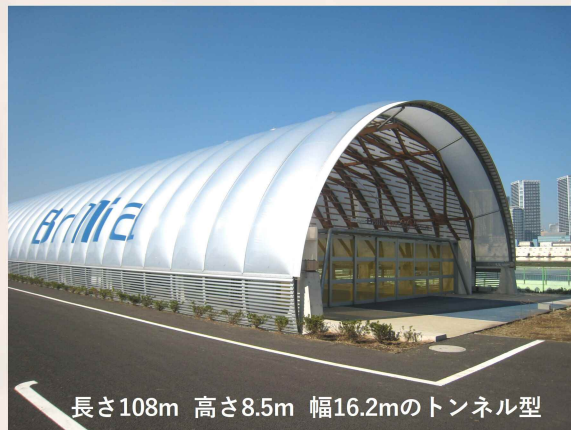
今回は、江東区新豊洲に建設された全天候型ランニングスタジアムに伺ってきました。



オリンピック・パラリンピックに向け、新たな道路や施設など更に開発が進む新豊洲で、異彩を放つスタジアム。



屋根は、軽く透明度の高い高機能フッ素樹脂に覆われ、内部はフレームに支えられて明るく快適な全天候型 60m 6レーンの競技用トラック

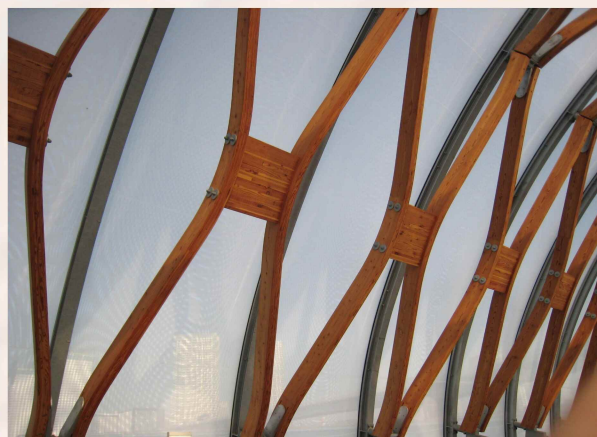


長さ108m 高さ8.5m 幅16.2mのトンネル型



TOILET + SHOWER MAN

内部の仕切りにも集成材が使用されているほか、健常者・障害者を問わず快適に活動できるよう配慮されています。



屋根フレームは長さ5mの長野県産カラマツ集成材を湾曲させた菱形ユニットを連結させています。

このスタジアムは、障害者アスリートの練習拠点として、また障害者と健常者が共同でアトパフォーマンスをつくり上げる活動拠点として利用されます。南側に位置するメインエントランス付近には、長野県産ヒノキ、スギを用いたCLTで作られた義足調整室、シャワー室などがあります。

※本施設は、平成27年度サステナブル建築物等先導事業（木造先導型）（国土交通省）を活用して建設されたものです。

■ ■ 編 発
行 行
所 所
TEL 027-210-1158
FAX 027-230-1393
総務課
関東森林管理局